

## 新潟市在宅医療・介護連携推進事業 実績報告書 (H27~H29 年度)

### 1. 経過

- H27.4 「新潟市地域包括ケア計画（第6期介護保険事業計画）」の重点取組事項に「在宅医療・介護連携の推進」を位置づけ
- H27.7 新潟市在宅医療・介護連携推進協議会 設置
- H27.11 在宅医療・介護連携センター開設（新潟市医師会内）
- H28.3 在宅医療・介護連携ステーション2箇所開設（東・秋葉）
- H28.4~6 在宅医療・介護連携ステーション6箇所開設（北・中央・江南・南・西・西蒲）
- H29.4 在宅医療・介護連携ステーション3箇所開設（東第二・中央第二・西第二）

### 2. 事業実績

【 】は実施主体

#### （ア）地域の医療・介護の資源の把握

##### ○医療資源調査の実施，資源マップ作成・公開【センター】

市内の医科診療所，歯科，病院，訪問看護，薬局の約1,500事業所を対象に調査を実施し，診療科目，訪問診療・往診の有無などの必要な情報を在宅医療・介護連携センターホームページにてマップ公開している。（調査 H28.7 月実施，公開 H28.12 月～）

平成29年度は8月に更新調査を実施し，累積回収率 69.4%→75.6%となった。

##### ○地域医療・介護連携に関する実態調査【センター】

平成28年11月，市内の医科診療所，歯科，病院，訪問看護，薬局，居宅介護支援事業所の約1,800事業所を対象に医療・介護連携の現状や考え，在宅医療・介護連携ステーションへの要望意見など調査。調査結果は事業の参考とするほか，「医療と介護の連携ハンドブック」の基礎資料とした。

平成29年11月，地域包括支援センターを対象に追加し，実施。次回実施は医療計画最終評価年度の平成32年度に実施予定。

## **(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討**

### ○在宅医療・介護連携推進協議会【地域医療推進課】

平成27年度より、大学、市医師会をはじめとした各職能団体、病院、診療所、地域包括支援センターなどの医療・介護関係機関、社協、コミ協、民生委員児童委員連合会協議会などの地域団体の立場など20名の委員で構成。在宅医療・介護連携推進事業の具体策の協議、事業の進捗管理など議論するほか、在宅医療を担う医師や訪問看護師等の人材開発・育成にかかる施策方針などを議論。

全体会と二つの分科会で構成

平成27年度全体会：2回、基盤整備分科会：5回、多職種連携・普及啓発・人材開発育成分科会：4回

平成28年度全体会：1回、基盤整備・多職種連携・普及啓発分科会：4回、人材開発育成分科会：4回

平成29年度全体会：2回、市民の理解を深める分科会：4回、医療と介護の連携を深める分科会：3回

### ○センター&ステーション会議（通称CS会議）【センター】

業務の遂行、ステーション間の情報共有を密に図るため、毎月第1水曜開催。

各ステーションにて受けた相談内容や実施した各種研修、市民出前講座などの内容について情報共有。

平成29年度よりセンター／ステーション従事者のスキルアップを目的とした、研修会を実施。

## **(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築**

### ○医師を対象とした訪問診療医研修事業【センター（平成28年度実施）】

開業医、病院医師等を対象に、在宅医療の理解を深めるとともに、訪問診療開始時に必要な知識や他の職種の専門性など習得する研修会を開催。平成28年度：3回開催

### ○地域医療連携強化事業【センター（平成29年度～）】

各地域での具体的な医療連携の取り組み構築を目指し、地域の特性により病病連携、病診連携、看看連携強化を目的に実施。平成29年度：9回開催

### ○看護師等を対象とした訪問看護師研修事業【地域医療推進課】

潜在看護師（学生、休眠看護師等）や病院看護師等、市民を対象に訪問看護、在宅医療への理解を深めること、看護職同士の連携強化を目的とした研修会を開催。

平成28年度：2回開催（内看護職参加者数述べ184名）

平成29年度：2回開催（内看護職参加者数述べ296名）

## **(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援**

### ○医療と介護の連携ハンドブック【地域医療推進課】

平成28年度「地域医療・介護連携に関する実態調査」結果より課題抽出された地域と病院の連携に焦点をあて、平成29年度医療と介護の連携を深める分科会にて「医療と介護の連携ハンドブック」を作成。本ハンドブックについては、市やセンターのホームページよりダウンロード可能となり、各職能団体や地域での医療・介護関係者向け研修会にて活用していく。

○情報共有ツールの利用促進に向けた使用法等説明会等の開催【センター】

医療と介護の連携を目的とし地域で活用されるむすびあい手帳や SWAN ネットの活用事例、情報交換会を開催。

**(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援**

○在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営【ステーション】

平成29年度よりステーションを3か所増設し、センター1か所、ステーション8区11か所体制で運営。医療・介護関係者からの支援者に係る相談や地域での研修会開催に係る相談に対応。

○医療・介護関係者からの相談対応【ステーション】

平成27年度（11月～3月）：6件、平成28年度：198件、平成29年度（4月～2月）：163件

○地域包括支援センターとの連携・支援【ステーション】

○地域ケア会議など関係会議等への参加・情報提供【ステーション】

各区にて、区役所、地域包括支援センター、在宅医療・介護連携ステーションの情報交換会を定例で開催のほか、ご当地連携研修会や出前講座「おきがる座談会」の一部を地域包括支援センター、在宅医療NWと共催で開催。

**(カ) 医療・介護関係者の研修**

○在宅医療ネットワーク事務担当者会議【センター】

市内で活動する20のネットワーク事務担当者を一同に会し、ネットワーク活動内容等の情報交換・共有を行った。平成28年度、平成29年度それぞれ年4回開催。

○在宅医療ネットワーク情報交換会【センター】

市内で活動する20のネットワーク代表・構成員、包括、行政等による情報交換・共有。年1回開催。平成28年度140人参加、平成29年度160人参加。

○多職種連携研修会・勉強会（区単位）【ステーション（平成28年度実施）】

ステーション毎に、地域の実態やニーズに応じ医療・介護連携を目的とした研修会を企画・開催。

平成28年度：13回開催

例)「東区在宅医療・介護多職種連携研修会」(H28.10月開催)

医療・介護関係者250名が参加し、区内に所在する5病院の診療の特徴や退院調整・地域移行支援の取り組みなどについて学んだほか、東区内の在宅医療資源の状況等について理解を深めた。

○医療・介護事業所向けセミナー【ステーション（平成28年度実施）】

病院や居宅介護支援事業所等の医療介護機関に出向き、医療へ介護、介護へ医療など基礎知識等の講座を実施。平成28年度：27回開催

○ご当地連携研修会【ステーション（平成29年度～）】

平成29年度より、「多職種連携研修会」、「医療・介護事業所向けセミナー」を統合し、ステーション毎に地域の実態やニーズに応じ医療・介護連携を目的とした研修会を企画・開催。

平成29年度：58回開催

**(キ) 地域住民への普及啓発**

○市民出前講座「医療と介護のおきがる座談会」【ステーション】

地域の茶の間、コミュニティ協議会、自治会など地域の団体が活動する場所に出向き、在宅医療・介護の基礎知識等について講座を開催。講師は地域の医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャー等の専門職に依頼。

平成27年度（実施主体：地域医療推進課）：37回、平成28年度：55回、平成29年度：58回開催

○在宅医療・介護の区民公開講座【ステーション（平成29年度～）】

ステーション毎に地域の実態やニーズに応じ市民を対象に在宅医療・介護への理解を深めてもらう目的で企画・開催。平成29年度：16回開催

○市民公開講座（在宅医療市民フォーラム）の開催【センター】

市民を対象に在宅医療や介護、地域における見守りなどについて理解を深めることを目的に開催。

H28.3月（江南区）：80人参加、H28.10月（北区）：365人参加、H29.11月（西蒲区）：170人参加

○在宅医療・介護に関する普及啓発冊子の印刷・配布【センター】

「よくわかる在宅医療&介護」を平成28年度8月発行。各区役所窓口やおきがる座談会や市民公開講座等の参加者へ配布、平成28・29年度で10,000部配布。

○在宅医療・介護連携センターホームページ公開【センター】

H28.12月開設。医療資源マップ公開のほか、センター・ステーションの紹介、関係機関が実施する取り組み、イベントについて案内。H29.10月よりイベントカレンダー機能を追加。

**(ク) 在宅医療・介護連携に関する市区町村連携**

○近隣市町村センター情報交換会の開催・参加【センター】

近隣市町村の職員および在宅医療・介護連携推進事業の受託事業者が一同に集まり、取り組み内容な各市町村の現状、課題、課題解決策などの情報交換など行う。

H28年度主催1回、参加3回（燕市、新発田市、三条市）

H29年度主催1回、参加4回（新潟県、燕市、三条市）

### 3. 成果

#### (1) 在宅医療ネットワーク数の増加

●ネットワーク数

H27年度：16 H28年度：20 H29年度：21

●形成・活動支援を目的とした研修会・情報交換会の実施回数・参加者数

・在宅医療ネットワーク事務担当者会議 H28年度：4回 H29年度：4回

・在宅医療ネットワーク情報交換会

H27年度：1回（82人）H28年度：1回（140人）H29年度：1回（160人）

#### (2) 在宅医療・介護連携センター/ステーションの開設における医療・介護関係者の相談支援体制の強化

●相談支援件数

H27年度（1～3月）：6件 H28年度：198件 H29年度（2月末現在）：163件

#### (3) 在宅医療・介護連携センター/ステーションの企画・運営による医療介護連携促進の機会の充実

●医療・介護関係者を対象にした研修会等の実施回数

H28年度：40回 H29年度：58回

#### (4) 市民への在宅医療の理解を深める機会の充実

●市民を対象とした講座の実施回数

<市民出前講座> H27年度：27回 H28年度：55回 H29年度：58回

<区民公開講座> H29年度：16回

<市民公開講座> H28年度：1回 H28年度：1回 H29年度：1回

のべ参加人数 H27年度：1,277人 H28年度：2,206人 H29年度（見込）：3,632人

#### (5) 在宅医療を支える資源量の増加

●在宅療養支援診療所数 (H25: 42 → H29: 46) (厚生労働省)

●訪問診療を実施する診療所数 (H25: 164 → H29: 186) (にいがた医療情報ネット)

●在宅療養支援歯科診療所数 (H26: 58 → H29: 81) (厚生労働省)

## 4. 課題と対策

### (1) 在宅医療・介護に関する市民、医療・介護関係者への理解促進

在宅医療に関する市民啓発について、高齢者だけではなく高齢者を支える家族、就労世代へも周知を図っていく必要がある。事業開催方法や内容の工夫（夜間帯の開催等や周知方法など）を図り、積極的な参加を促し、潜在的な需要を表面化させ、供給体制とマッチングさせていく。

また医療・介護関係者について、医療・介護の多職種を対象とした研修会を開催しているが、開業医、病院医師・病院看護師等の参加が少ない。研修会のアンケートの結果から、医療と介護の相互の専門性や役割が分からないといった意見や在宅支援の内容が分からないという声が多い。急性期から回復期、退院後の在宅生活を円滑に進めるためには医療保険から介護保険への移行など、医療と介護に関わるスタッフが密接に連携し、市民が切れ目なくサービスを受けることができるよう支援していく必要があるため、市民、医療・介護関係者へ理解を深める機会を充実させる。

【参考】「新潟市医療に関する意識調査（医師会員）」

- ・かかりつけ医の有無（新潟市医療に関する意識調査（市民））  
「持っている」 H24:72.2% → H29:67.0%
- ・最後に希望する医療の家族との相談状況（新潟市医療に関する意識調査（市民））  
「話し合ったことがある」、「一応話し合ったことがある」 H29:32.7%

### (2) 在宅医療の後方支援体制の確保

「地域医療・介護連携に関する実態調査」結果から、在宅医療の負担軽減や円滑な業務遂行のために「急変時の入院時、病院の積極的なバックアップ体制の整備」が有効と回答する割合が高い。平成29年度より「地域医療連携強化事業」として、各区における病病連携・病診連携会議を実施しており、引き続き後方支援体制の構築を推進していく。

【参考】「新潟市医療に関する意識調査（医師会員）（H29年度）」

- 「在宅医療を推進する上で必要なこと」
- ・緊急時の入院体制（後方支援ベッド）の充足 58.0%
- ・24時間体制の在宅医療機関間のネットワークの整備 34.1%

### (3) 在宅医療を支える医師・看護師等の医療・介護人材の確保

2025年に向け、在宅医療を支える訪問診療医、訪問看護師を始めとした医療・介護人材を確保していく必要がある。目標値については、現状の医療・介護レセプトデータを分析し、2025年の需要推計量を算出したうえで、各職能団体と協議し設定していく。

【参考】「厚生労働省」

- ・「看取りを実施する一般診療所人口10万対数」 2.99（政令市平均 3.39）
- ・「訪問看護ステーション人口10万対数」 6.1（政令市平均 7.7）

#### (4) 医療・介護関係者と地域を支える多様な主体との切れ目ない連携体制の構築に向けた支援

市民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、切れ目ない医療・介護サービス提供体制を構築していく必要がある。連携ステーション・センターが企画・運営する各種研修会において、多様な主体との協議の場を提供する。

#### (5) 在宅医療・介護連携推進事業、連携ステーション・センターの周知

アンケートの結果、センター及びステーションの機能や業務内容などについてまだまだ認知が不足していることがわかった。特に「どのような相談ができ、どのような対応をしてくれるのか」といった声が多い。このため、関係機関で行われる各種会議への積極的な参加を通して具体的な支援例を提示することや、より多くの医療・介護関係者の研修会や勉強会等の取り組みへの参加の促進についてより強化していく。

【参考】「地域医療・介護連携に関する実態調査」

「ステーションを知っているか」

「ステーションの役割を知っているか」

・診療所：46% 歯科診療所：37%      ・診療所：49% 歯科診療所：37%

「ステーションが実施する研修や勉強会に参加したことがあるか」

・診療所：28% 歯科診療所：24%

H28・29年度在宅医療・介護連携推進事業 業務実績一覧

項目	H28年度				
	No	具体的な取り組み	実施主体	業務実績	
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	1	医療資源調査の実施・資源マップ作成・公開	CT	H28.8月に実施し、資源マップをH28.12月に在宅医療・介護連携センターホームページにて公開	
	2	在宅医療・介護連携等に関するアンケート調査の実施	CT	H28.11月に実施し、集計結果を在宅医療・介護連携センターホームページにて公開	
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	3	在宅医療・介護連携推進協議会の開催	市	H28年度、全体会1回、分科会4回開催	
	4	ステーション業務の統括・調整	CT		
	5	関係機関との連携調整・連携のしくみづくり	CT	医療・介護関係機関、在宅医療ネットワーク等が開催する各種会議に出席	
	6	センター・ステーション会議の実施	CT	月1回開催(原則、毎月第1水曜)	
(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築	7	訪問診療医研修事業の開催	CT	H28.8.27, H29.3.3, H29.3.26開催	
	8	訪問看護体験事業の開催	市	H28.6.12, H28.11.13市全域を対象として開催	
(エ) 在宅医療・介護関係者の情報の共有支援	9	ステーション業務マニュアル作成	CT	平成28年4月に各STへマニュアル配布、平成29年4月改版予定	
	10	(仮称)在宅医療・介護連携ガイドラインの作成	市	平成29年度策定予定	
	11	情報共有ツールの利用促進のための使用方法説明会等の開催	CT	南・西・西蒲合同実施(11/5)	
(オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援	12	在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営	ST	合計:198件(内訳 ST北:9件, ST東:23件, ST中央:38件, ST江南:7件, ST秋葉:18件, ST南:11件, ST西:32件, ST西蒲:17件, CT:43件)	
	13	医療・介護関係者からの相談対応等	ST		
	14	地域包括支援センターとの連携・支援	ST		区内各包括支援センターへの訪問
	15	地域ケア会議など関係会議等への参加・情報提供	ST		圏域ケア会議、在宅医療NW研修会への参加、企画、情報提供
(カ) 医療・介護関係者の研修	16	在宅医療ネットワーク事務担当者会議	CT	計4回開催(H28.6.24, H28.9.16, H28.12.5, H29.3.22)	
	17	在宅医療ネットワーク情報交換会	CT	H28.5.22ホテルラングウッド新潟にて実施	
	18	多職種連携研修会・勉強会(区単位)の開催	ST	計13回開催(ST北:5回, ST東:1回, ST中央:1回, ST江南:1回, ST秋葉:3回, ST南:1回, ST西:1回)	
	19	医療・介護事業所向け「出前講座」の実施	ST	計27回開催(ST北:0回, ST東:2回, ST中央:5回, ST江南:5回, ST秋葉:2回, ST南:2回, ST西:7回, ST西蒲:2回, その他:2回)	
(キ) 地域住民への普及啓発	20	在宅医療・介護の市民出前講座「医療と介護のおきがる座談会」	ST	計55回開催(ST北:8回, ST東:8回, ST中央:11回, ST江南:3回, ST秋葉:4回, ST南:4回, ST西:9回, ST西蒲:8回)	
	21	市民公開講座「在宅医療・介護市民フォーラム」(市域)	CT	H28.10.1北区文化会館にて実施。参加者365名	
	22	在宅医療・介護に関する普及啓発冊子の作成・配布	CT	10,000部発行、各区役所窓口や出前講座にて市民へ配布	
	23	センターホームページ作成・公開	CT	H28.8月にプレ公開し、H28.12月より正式公開済み	
	24	近隣市町村センター情報交換会の開催(参加)	CT	4/18新潟市にて情報交換会開催 7/4 燕市開催情報交換会参加 11/14新発田市開催情報交換会参加 2/10 三条市開催情報交換会参加	

項目	H29年度				
	No	具体的な取り組み	実施主体	業務実績	
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	1	医療資源情報管理、マップ管理	CT	資源マップについて、H29.8月に更新案内を発送し、H29.12月にホームページを更新。(累積回収率75.6%)	
	2	地域医療・介護連携に関する実態調査(アンケート)の実施	CT	H29.11月に実施し、集計結果を在宅医療・介護連携センターホームページにてH30.3月公開予定。H31年度以降結果の分析を引き続き実施し、ご当地連携研修会等で活用していく	
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	3	在宅医療・介護連携推進協議会設置・開催	市	H29年度、全体会2回、医療と介護の連携を深める分科会3回、市民の理解を深める分科会4回開催	
	4	ステーション業務の統括・調整	CT		
	5	関係機関との連携調整・連携のしくみづくり	CT	医療・介護関係機関、在宅医療ネットワーク、支え合いの仕組みづくり協議会等が開催する各種会議に出席	
	6	センター・ステーション会議の実施	CT	月1回開催(原則、毎月第1水曜)	
(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築	7	地域医療連携強化事業	CT	【地区(病病・病診)連携】 北区:7/31, 中央区:11/30, 江南区:12/13, 東区:3/13に開催。 【地区(看看)連携】 東区:6/18, 西区:9/9, 中央区(関屋白新・ふなえ圏域):10/26, 西区:3/3に開催。中央区(姥ヶ山・宮浦東新潟圏域):3/27開催予定	
	8	訪問看護普及啓発事業	市	H29.5.24, H30.2.13, 14(燕・弥彦医療介護センター共催)にて、市全域を対象として開催	
(エ) 在宅医療・介護関係者の情報の共有支援	9	ステーション業務マニュアル更新管理	CT	平成29年4月に改版し、H30.4月に再改版予定	
	10	新潟市医療と介護の連携ハンドブック(仮称)作成	市	医療と介護の連携を深める分科会にて検討、H30年に初版公開予定	
	11	情報共有ツール利用促進研修会	CT	H29.11.13に医療関係者向け、介護関係者向けにそれぞれ開催 その他在宅医療推進センターにて、SWANネット講習会、情報交換会、セキュリティ研修会を開催	
(オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援	12	在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営	ST	合計:163件(H30.2月末)(内訳 ST北:10件, ST東:13件, ST東第二:8件, ST中央:18件, ST中央第二:21件, ST江南:3件, ST秋葉:9件, ST南:11件, ST西:27件, ST西第二:3件, ST西蒲:11件, CT:29件)	
	13	医療・介護関係者からの相談対応等	ST		
	14	地域包括支援センターとの連携・支援	ST		各区にて、区役所、地域包括支援センター、在宅医療・介護連携ステーションの情報交換会を定例で開催のほか、ご当地連携研修会や出前講座「おきがる座談会」を共催
	15	地域ケア会議など関係会議等への参加・情報提供	ST		圏域ケア会議、在宅医療NW研修会への参加、企画、情報提供
(カ) 医療・介護関係者の研修	16	在宅医療ネットワーク事務担当者会議	CT	計4回開催(H29.6.29, H29.10.10, H30.1.31, H30.3.27)	
	17	在宅医療ネットワーク情報交換会	CT	H29.5.28新潟東映ホテルにて実施	
	18	ご当地連携研修会	ST	計58回開催(ST北:11回, ST東:5回, ST東第二:5回, ST中央:4回, ST中央第二:6回, ST江南:6回, ST秋葉:3回, ST南:6回, ST西:6回, ST西第二:0回, ST西蒲:5回, CT:1回)	
	19	在宅医療・介護の市民出前講座「医療と介護のおきがる座談会」	ST	計58回開催(ST北:8回, ST東:1回, ST東第二:2回, ST中央:4回, ST中央第二:3回, ST江南:5回, ST秋葉:4回, ST南:7回, ST西:9回, ST西第二:10回, ST西蒲:5回)	
(キ) 地域住民への普及啓発	20	在宅医療・介護の区民公開講座(おおむね区域)	ST	計16回開催(ST北:2回, ST東:1回, ST東第二:1回, ST中央:1回, ST中央第二:2回, ST江南:3回, ST秋葉:1回, ST南:1回, ST西:1回, ST西第二:1回, ST西蒲:2回)	
	21	在宅医療・介護のナイトスクール(おおむね区域)	市	申込型6回、企画型4回開催	
	22	市民公開講座「在宅医療・介護市民フォーラム」(市域)	CT	H29.11.3西川多目的ホールにて実施。参加者170名	
	23	在宅医療・介護に関する普及啓発冊子の更新・配布	CT	各区役所窓口や出前講座、区民公開講座等にて市民へ配布	
	24	センターホームページ運営・管理	CT	H29.10月にカレンダー機能を追加し、随時情報更新	
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	25	近隣市町村センター情報交換会の開催(参加)	CT	5/19新潟県と共催で新潟市にて情報交換会開催 9/22燕市開催情報交換会参加 2/9三条市開催情報交換会参加 11/20, 3/8新潟県主催合同研修会参加	